

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第38週の発生動向

全数報告の感染症 (38 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 6 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：報告なし。5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	40 歳代	女	肺結核	画像所見あり
			60 歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
			80 歳代	男	疑似症患者	咳、痰、発熱
		都城	60 歳代	女	その他の結核 (腹腔内摘出腫瘍部)	咳、痰、創部痛
			80 歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
		日南	60 歳代	女	疑似症患者	右胸水貯留、微熱

定点把握の対象となる 5 類感染症

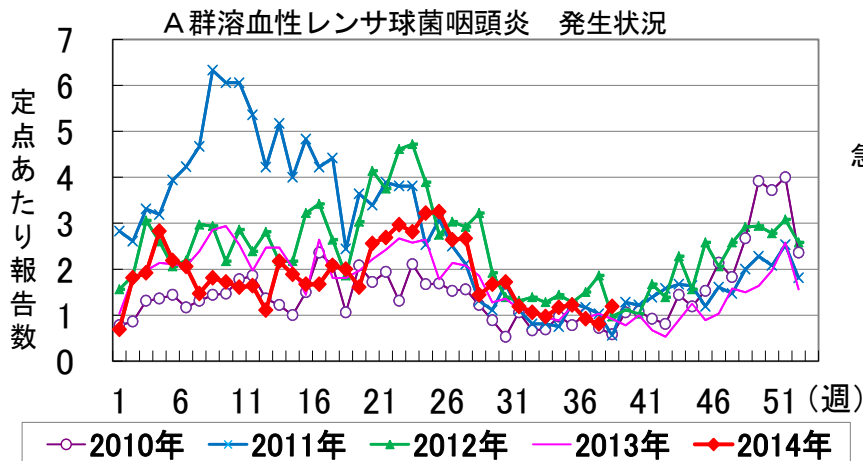
・定点医療機関からの報告総数は 498 人 (定点あたり 15.8) で、前週比 80%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は RS ウイルス感染症と手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

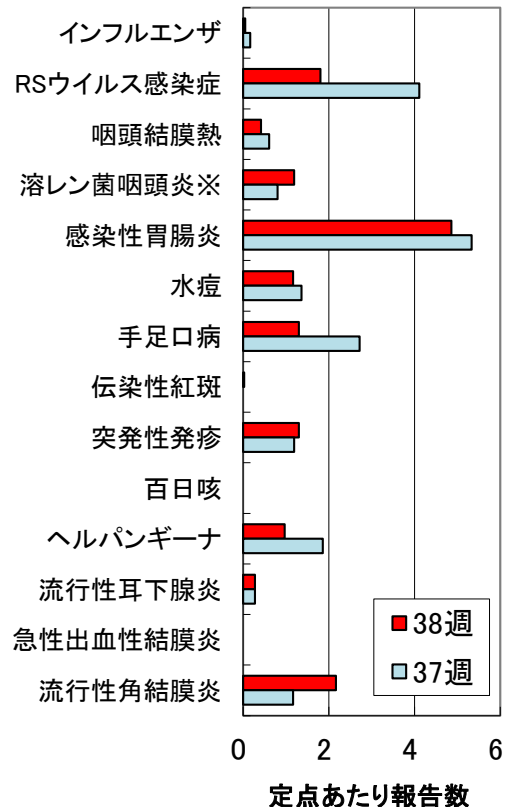
【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は 43 人 (1.2) で、前週比 148%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (0.89) の約 1.3 倍であった。年齢別では 5 歳から 6 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



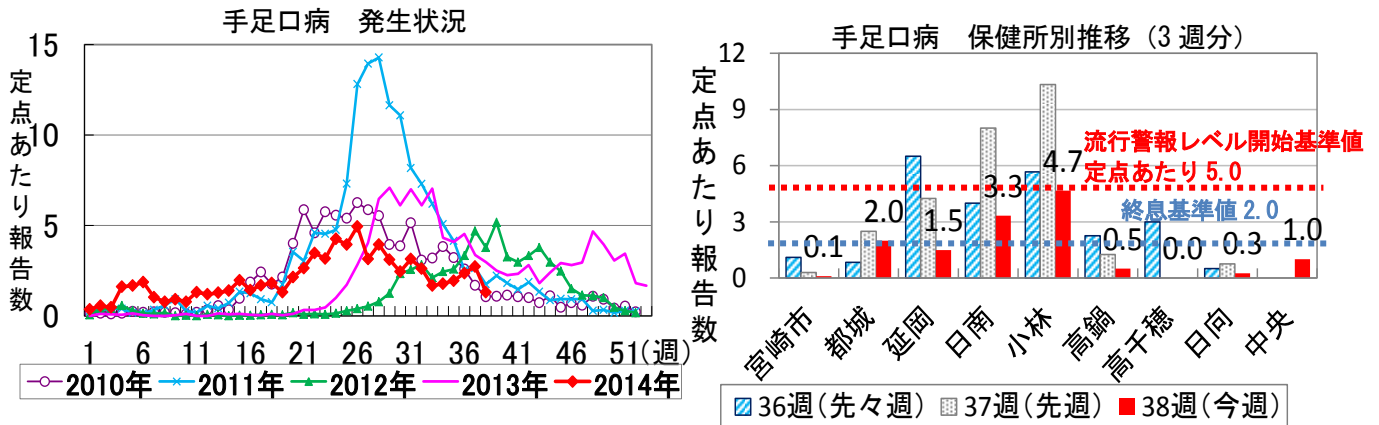
《前週との比較》



※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【手足口病】

・報告数は47人(1.3)で、前週比48%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値* (2.5) の約0.5倍であった。年齢別では1歳から3歳が全体の約6割を占めた。



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★
なし。

★基幹定点からの報告★

- 無菌性髄膜炎：都城保健所管内から1例報告された。患者は1歳で、病原体はRSウイルス。
- クラミジア肺炎：延岡保健所管内から1例報告された。患者は50歳代であった。

□ 病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成26年9月22日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O26:H11 VT1)	20歳代	女	2014.8.29	無症状	便	2014.9.9
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	0~4	男	2014.9.3	サルモネラ感染症、咽頭炎、下痢、血便	便	2014.9.9
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	0~4	—	2014.9.4	—	便	2014.9.10
Salmonella Mbandaka (O7:z10:e,n,z15)	0~4	男	2014.9.10	サルモネラ腸炎、発熱(39.4℃)、胃腸炎、下痢、血便	便	2014.9.10

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	検出材料	検出日
エコーウイルス11型	5	女	2014.07.24	ヘルペス口内炎、口内炎	咽頭ぬぐい液	2014.09.08
アデノウイルス2型	1	男	2014.08.12	腸重積症、胃腸炎(下痢、嘔吐、嘔気、血便、腹痛)、ウイルス性腸炎、40.2℃、上気道炎(咽頭炎)、咽頭に白苔あり	便、咽頭ぬぐい液	2014.09.16
インフルエンザウイルスAH3型	4	男	2014.08.21	A型インフルエンザ、39.2℃	咽頭ぬぐい液	2014.09.09
パレコウイルス	7ヶ月	女	2014.07.12	感染性胃腸炎、下痢	便	2014.09.18

- ヘルペス口内炎と診断された小児からエコーウイルス11型が分離された。
- 腸重積症、ウイルス性腸炎と診断された小児からアデノウイルス2型が分離された。アデノウイルス2型は咽頭扁桃や腸管リンパ節に潜伏感染したり、上気道炎や小児の腸重積症の原因となる場合がある。腸重積症とは、口側の腸が肛門側の腸の中に入り込む病態で、この状態を放置すると腸閉塞、腸管壊死を引き起こすおそれがある。主に0~2歳くらいの乳幼児に見られ、原因の一つとして、ウイルス感染による小腸内リンパ節の腫大や腸管の蠕動運動異常などが考えられている。
- インフルエンザA型と診断された小児からインフルエンザAH3型が分離された。
- 感染性胃腸炎と診断された乳児からパレコウイルスが検出された。パレコウイルスは主に小児の胃腸炎や呼吸器疾患患者から分離される。当所では4月から9月にかけて6件検出されており、他県においてもパレコウイルス感染症患者が急増しているとの報告がある。本邦において2006、2008、2011年に流行が報告されており、今季も感染の拡大の可能性があると考えられ、感染予防に留意が必要と考える。

🚩 全国第 37 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 37 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	393 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	86 例	腸チフス	2 例
	E型肝炎	1 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
4類感染症	デング熱	41 例	日本紅斑熱	11 例	マラリア	4 例
	レジオネラ症	21 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	ウイルス性肝炎	3 例	急性脳炎	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例	後天性免疫不全症候群	18 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	10 例	梅毒	26 例
	破傷風	4 例	風しん	5 例	麻しん	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 101%とほぼ横ばいであった。今週増加した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘で、減少した主な疾患は伝染性紅斑とヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は2,982人(0.95)で、前週比138%と増加した。宮崎県(4.1)、福岡県・長崎県(各3.1)からの報告が多く、年齢別では6ヶ月～1歳が全体の約6割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は5,288人(1.7)で、前週比85%と減少した。福島県(6.2)、新潟県(5.5)、宮城県(5.1)からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約6割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第38週(09月15日～09月21日)

疾病名		第37週	第38週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	10	3	1					1		1	
	定点あたり	0.17	0.05	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	148	65	14	9	7	4		5		25	1
	定点あたり	4.11	1.81	1.40	1.50	1.75	1.33	0.00	1.25	0.00	6.25	1.00
咽頭結膜熱	報告数	22	15	2	1	5	3		1	1	2	
	定点あたり	0.61	0.42	0.20	0.17	1.25	1.00	0.00	0.25	1.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	29	43	12	5	5	4		5	3	7	2
	定点あたり	0.81	1.19	1.20	0.83	1.25	1.33	0.00	1.25	3.00	1.75	2.00
感染性胃腸炎	報告数	192	175	30	23	34	31	24	7	3	18	5
	定点あたり	5.33	4.86	3.00	3.83	8.50	10.33	8.00	1.75	3.00	4.50	5.00
水痘	報告数	49	42	4	7	9	5	6	3		8	
	定点あたり	1.36	1.17	0.40	1.17	2.25	1.67	2.00	0.75	0.00	2.00	0.00
手足口病	報告数	98	47	1	12	6	10	14	2		1	1
	定点あたり	2.72	1.31	0.10	2.00	1.50	3.33	4.67	0.50	0.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	43	47	11	6	11	5	6	2		4	2
	定点あたり	1.19	1.31	1.10	1.00	2.75	1.67	2.00	0.50	0.00	1.00	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	67	35	15	5	5	1		5		3	1
	定点あたり	1.86	0.97	1.50	0.83	1.25	0.33	0.00	1.25	0.00	0.75	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	10	10			7	1		1		1	
	定点あたり	0.28	0.28	0.00	0.00	1.75	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	13	13								
	定点あたり	1.17	2.17	4.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～38週)

2類感染症	結核	164例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	22例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	6例	日本紅斑熱	5例	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	9例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	8例
	侵襲性肺炎球菌感染症	9例	梅毒	10例	破傷風	1例
	風しん	2例	麻しん	4例		

()内は今週届出分、再掲